令和８年度第１回健康づくり推進協議会　議事録

○開 催 日 時　　令和８年９月 17 日（木）　14 時 00 分～15 時 30 分
○会　　場　　全国健康保険協会愛知支部　第１会議室
○出 席 委 員　　学識経験者２名、保健医療関係者２名、健康保険委員代表１名　計５名
○出席事務局　　支部長、企画総務部長、企画総務グループ長、保健グループ長
保健グループ長補佐２名、
保健グループ職員３名　計９名

≪議題≫
（１）事業概要について
（２）令和７年度第２回健康づくり推進協議会資料の修正について
（３）生活習慣病予防健診結果に基づくデータ分析について

≪議事概要≫
○事務局からの説明
議題１：現在行っているデータ分析事業の概要を説明した。
議題２：前回の協議会で委員から頂いた意見をもとに資料を修正し、改めて委員の意見を求めた。
議題３：生活習慣病予防健診結果に基づいたデータ分析を行い、委員の意見を求めた。

○各委員の発言要旨
【学識経験者】
・受診月については、業種ごとで傾向があり、年間を通してみると健診を受ける人が多い月と少ない月がある。経営工学からみると、出来るだけ平準化する方が良いと思う。
・協会が保有するデータを使用した分析を行ったうえで関係団体と連携できるかなども考えてもらいたい。
・コラボヘルスを推進する際に、バックボーンとなるデータを提示して、健康経営を行っている事業所と行っていない事業所を比較してアプローチしてはどうか。

【保健医療関係者】
・健診受診月を平準化できれば提供する側としてはありがたいが、各事業所にもさまざまな事情があるので、難しいのではないか。
・特定保健指導を行う関係でも、受診月を平準化するのが理想的だと思う。
・未治療者に関しては、事業所から受診を勧奨するほうが受診する人も多くなるのではないかと思うので、事業所を巻き込んでの取り組みができれば良い。
・健診結果について、愛知の特徴である自動車関連のシフト制勤務やモーニング文化が影響しているのかと

も考えられるが、地域の文化や習慣に変化を求めるのは難しいと思うので、どういった取り組みを行うかはさらに分析が必要ではないかと思う。

【健康保険委員代表】

・健診受診後の未治療者について、若い人は受診しない傾向がある。また、何度も該当する人は受けなくなるので、初めて該当した段階で受診していただく取り組みが有効だと思う。

・未治療者の方々を業種別や年齢別に分析してみても良いのではないか。